

# 熊本市におけるバス交通のあり方検討協議会（平成20年5月21日設置・熊本市）

## 計画事業の概要（2年目）

総合事業計画に基づく事業（交付額：1,000千円）

【熊本市バス路線網再編案】

### 事業内容

・モビリティマネジメントの実施

### 具体的成果及び明らかになった課題

#### < 成果 >

- ・MMキット(利用促進啓発資料)配布による公共交通利用促進
- ・生活情報誌にバス利用促進に関する啓発記事を掲載することによる公共交通利用促進
- ・アンケート調査による住民意識の把握

#### < 課題 >

- ・バス利用者の増加
- ・MMキット(利用促進啓発資料)の内容精査
- ・フォローアップ調査の充実

### 翌年度事業にあたっての見直し(案)及び本格実施の展望

#### < 見直し(案) >

- ・アンケート、利用促進啓発資料の内容検討
- ・モビリティマネジメントの実施方法

#### < 本格実施への展望 > (特に2年目以降は具体的に記載してください)

- ・バス事業者との連携強化
- ・財源の確保



## 総合評価

### 合意形成

・委員構成：学識経験者、市議会議員、バス事業者、経済・福祉・教育関係、公募委員、行政  
・協議会開催回数：平成20年度4回、平成21年度3回、平成22年度2回(予定)

法定協議会を適切に開催し、地域公共交通の活性化、再生のため、平成20年度に「熊本市地域公共交通総合連携計画」を策定した。連携計画では、年々減少傾向にあるバス利用者を増加に転じさせることを目標に定め、その方策としてバス路線網再編案と25の利用促進策を掲げた。

本年度は、昨年度に引き続きモビリティマネジメントを実施したが、昨年度のノウハウをもとに熊本市南地区の住民に対してMMキットを配布することに加え、生活情報誌にバス利用促進に関する啓発記事を掲載することで、より多くの住民に対して効果的な利用促進活動を行った。